

1次審査の評価基準

評価項目	判断基準	配点
応募の実績	<p>応募者の業務実績を評価する。特に1案件につき公共図書館での配架計画作成を含む図書館資料10万冊以上の移動実績を中心に評価する。</p> <p>○ 高い (5) ○ 中位 (3) ○ 低い (0)</p>	/5
業務体制	<p>受託した場合の業務体制を評価する。特に、実施体制、責任者、主担当者(業務の中心的役割を担う者)、補助スタッフ等の人数、役割分担の具体的な内容を中心に評価する。</p> <p>○ 高い (5) ○ 中位 (3) ○ 低い (0)</p>	/5
主担当者の実績	<p>主担当者の実績を評価する。特に20万冊以上の配架計画立案の経験を複数有する実績を評価する。</p> <p>○ 高い (5) ○ 中位 (3) ○ 低い (0)</p>	/5
取り組みの姿勢	<p>応募者の取り組みに関する姿勢、方針等を評価する。</p> <p>○ 高い (5) ○ 中位 (3) ○ 低い (0)</p>	/5
合計		/20

2次審査の評価基準

「非価格要素点」と「価格点」の合計によって「総合評価点」を算出し総合評価点が最も高いものを最優秀者(委託候補者)とする。

総合評価点＝非価格要素点＋価格点

- ・総合評価は、100点満点とする。
- ・非価格要素点と価格点の比率は70:30とする。

○非価格要素評価

評価項目	判断基準	配点
本業務に対する理解	<p>本業務の目的・概要についての理解について、次の3段階で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高い (5) ○ 中位 (3) ○ 低い (0) 	/5
受託実績、業務推進体制	<p>同様の業務を受託した実績(導入の規模、受託年度、件数等)や本業務を遂行するための体制・要員の十分な確保や、町及び関係者と提案者の役割分担について次の5段階で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 極めて高い (20) ○ 高い (16) ○ 中位 (10) ○ やや低い (6) ○ 低い (0) 	/20
作業手順・内容	<p>本業務の趣旨を踏まえた上で、全体スケジュール・各種業務が無理のないスムーズな工程で実現可能かについて評価するほか、再配架計画の作成について追加保管分も含めて円滑で柔軟な対応が可能かを、次の5段階で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 極めて高い (30) ○ 高い (24) ○ 中位 (15) ○ やや低い (9) ○ 低い (0) 	/30
課題	<p>課題の認識や課題の問題解決についての対応について、次の5段階で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 極めて高い (10) ○ 高い (8) ○ 中位 (5) ○ やや低い (3) ○ 低い (0) 	/10
その他の提案	<p>特に優れた提案がある場合について、次の3段階で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高い (5) ○ 中位 (3) ○ 低い (0) 	/5
合計		/70

価格点

価格点の算定

以下の算定に基づいて価格点を算出する。

点数は、小数点以下第3位を四捨五入した値とする。

$$\text{価格点} = (1 - \text{提案価格} \div \text{予定価格}) \times \text{配点}(30\text{点})$$

○価格点評価

No	提案価格	予定価格	×	30点	配点
		38,500,000	×	30	／30

○総合評価点＝非価格要素点＋価格点

非価格要素点	価格点	総合評価点
／70	／30	／100

※留意事項

- ・「提示価格」が「提案上限価格」を上回った場合は、失格とする。
- ・「提示価格」が「提案上限価格」を著しく下回る場合、提案内容に適合した履行が可能であるのか調査を行う場合がある。なお、調査実施結果、提案内容に適合した履行が不可能と判断された場合は失格とする。